

開催延期の混乱を乗り越えて ▶ 東京2020オリパラ ボランティア活動記 小上馬 広介さん

コロナ禍で1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックが終わりました。ボランティア研修に講師として携わり、自身もフィールドキャストで活動した小上馬広介さんに振り返ってもらいました

●ボラ希望者の想いに触れた

緊急事態宣言が出される中、東京2020オリンピック、パラリンピックが開催されました。読者の皆様の中にもフィールドキャスト、シティーキャストとして活躍された方がおられると思います。

今回、オリンピック、パラリンピックではフィールドキャストだけでも約8万人のボランティアの皆さんの活動の場が準備されました。募集段階では18万人を超える応募があり、活動の仲間を見つけるための面談会が全国各地で開催されました。私は2019年5月、面談員としてボランティアを希望する方々から意気込みを語って頂き、「是非一緒に活動したい」と感じる熱意のある方が次の研修会に進むことになりました。

面談では老若男女、国籍を問わず多くの方々にオリンピックに対するそれぞれの想いを語って頂き、応募いただいた皆様の想いを受け、一人でも多くの仲間に参加頂きたいと感じたことを思い出します。

札幌では2019年11月にフィールドキャスト、2020年1月にはシティーキャストの研修会に講師として参加させていただき、オリンピックの歴史、開催意義、東京2020の目指すもの、そしてボランティアとしての心得を座学で学んでいただきました。皆様、真剣な眼差しで熱心に受講され、大会に対する期待値に圧倒され、大会への想いを再認識しました。研修会の内容はフィールドキャスト、シティーキャストともほぼ同様で、活動の別なく参加者の一体感を醸成したいという主催者側の狙いがあったようです。

●シティーキャストで活動できず

札幌におけるフィールドキャストの研修会当日、サプライズ発表があったマラソン、競歩の開催都市変更。コロナ禍による1年の延期。無観客による開催により、活動が変更になったなど、直前まで、開催に対して不安を感じるボランティアの皆様がおられたと思います。

また無観客開催となったことにより、当初にアナウンスされた内容と異なる活動になった方も多かったと思います。イベントサービスという観客に一番近い場所での活動がなくなり、他の場所に割りふられる事態も起きました。シティーキャストでは、活動そのものがなくなり、ユニフォームだけが残った方もいます。何を隠そう、私も東京で参加するはずだったシティーキャストは域外からの参加ということで、活動できませんでした。

パラリンピックのフィールドキャストとして私が東京・晴海の選手村で担当したフリートサービスは、各国の組織委員会に割り当てられた大会車両を代行運転するという活動でした。活動

小上馬 広介さん(こじょうま こうすけ)
1964年神奈川県生まれ。会社員、札幌市在住。東京マラソンに第1回からボランティアリーダーとしてかかわる。日本スポーツボランティアネットワーク(JSVN)のボランティアコーディネーター、同講師。



前日の17時までに翌日の予約が入り、その計画に基づきドライバーが割り当てられるという運用で、遠方から参加の方々には多少戸惑いもあったようです。また各国のお国柄もあって計画通りに事が運ぶことは皆無で、活動シフトは前日の夜、当日、活動がキャンセル、活動がない場合は待機ということも多かったです。国内のボランティア活動でこのような事態に陥ったら、クレームの嵐になると思いますよね。実際、一部のボランティアからクレームが上がったようです。

●ボランティア仲間と新たな交流も

そんな状況でも、ボランティアのためのボランティアとして自身の活動を見出しききと活動を行う仲間がいました。私は、活動までの待機時間に仲間と各国からの関係者に配る折り紙を作り、活動に出るドライバーに持って行ってもらう活動を作り出し、多くの仲間と待機時間を過ごしました。時間、活動日数は人それぞれで、一期一会になる関係の方も多かったなか、同じ時間、空間を過ごしていくことで、多くの方々とコミュニケーションを楽しむボランティアもいました。

いろいろな困難があった東京2020。貴重な体験をして頂いた皆さんには、自らの経験をできるだけ多くの方々に広めていっていただきたいと思います。

★編集後記★

NPOランナーズサポート北海道が開催した「北海道マラソン教室2021」が、11月末に無事終了しました。前・後期とも緊急事態宣言の発出などで、日程変更が相次ぎ、参加者にはいろいろ迷惑をかけることになりましたが、参加したランナーから「走る機会ができてうれしかった」と感謝の言葉もいただき、コロナ禍での日々の生活の不自由さを痛感しました。

年明けにはこれも恒例の「北海道スノーマラソン」があり、準備に追われています。感染状況は改善の傾向ですが、気を緩めることなく安全な大会を目指したいと思います。(K)

北のスポボラを支援していただいた団体・企業

株式会社サッポロドラッグストア 一般財団法人 札幌市スポーツ協会 さっぽろグローバルスポーツコミッション
NPO法人 日本市民スポーツ海外交流協会 北海道マラソン組織委員会 北海道ロードレース事務局
創文企画「ランニングの世界」 西宮の沢バッティングパーク ピッチャーガエシ